

足利赤十字病院神経精神科を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	精神疾患患者における横紋筋融解症からの急性腎不全のリスクを明らかにする後ろ向き研究（カルテ調査）
当院の研究責任者	船山道隆（神経精神科部長）
研究施行者	中野雅規（神経精神科専攻医）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	横紋筋融解症は精神科領域で頻発する疾患ですが、時に急性腎不全や緊急透析のリスクがあり管理に難渋することが多い病態です。横紋筋融解症から急性腎不全発症による透析導入のリスクスコアとして McMahon score が知られており、年齢、性別、基礎疾患の存在、血液検査でのクレアチニン、カルシウム、リン、重炭酸、 CK で評価します。しかし精神科臨床との関連、例えば抗精神病薬の種類、投与量や精神疾患の種類、重症度との関連も含めた研究は過去にありません。本研究の目的はこれらの関連性を調べることです。得られたデータによって、症状の増悪を早期に予測し、今後の患者様により適切な治療を提供することを検討していきます。
調査データ該当期間	2011年1月から2024年8月までに当院精神科病棟に入院していた患者様の診療情報を調査対象とします。
研究の方法	対象は、2011年1月から2024年8月に当院精神科病棟に入院していた患者で、入院中の血液検査で CK1500 U/L 以上の患者について、クレアチニンの上昇と緊急透析導入の有無に対して、 McMahon score の項目に加えて精神疾患名と重症度、 BUN/Cre 、補液量、補液開始日、抗精神病薬の使用有無や抗精神病薬のクロルプロマジン換算値等との関連を多変量解析を行って調査します。
情報の他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から患者様を直接特定できる個人情報は削除しています。また研究成果は学会発表や論文を予定していますが、その際も患者様を直接特定できない形式となっています。
本研究の資金、利益相反	ありません
お問い合わせ先	電話 0284-21-0121 担当者：神経精神科 船山道隆

